

保護者の皆様

札幌市立本郷小学校

校長 福岡 翼

## 全国学力・学習状況調査の結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、今年度実施いたしました全国学力・学習状況調査(6年生対象)につきまして、本校の結果概要をお知らせいたします。なお、調査により測定できるのは、学力の一部であり、教育活動の一側面であることにご留意ください。

### 【小学校国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>◇「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率 →全国平均より下回っている。</p> <p>◇「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率 →全国平均より下回っている。</p> <p>◇「我が国の言語文化に関する事項」の平均正答率 →全国平均より上回っている。</p> <p>◇「話すこと・聞くこと」の平均正答率 →全国平均とほぼ同程度であるがやや上回る。</p> <p>◇「書くこと」の平均正答率 →全国平均とほぼ同程度であるがやや上回る。</p> <p>◇「読むこと」の平均正答率 →全国平均より下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく書き直せるものとそうではないものの差が大きい。</li><li>・情報と情報の関係づけの仕方や図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。</li></ul> <p>・目的に応じて、文章と図表を結びつけ必要な情報を見付けること。</p>	<p>→様々な読み方や使われ方に触れる機会が増えるような漢字学習を推進する。</p> <p>→各領域において、情報を的確に取り出し、その関係性を表にまとめるなどして、整理し表現する活動を推進する。</p> <p>→起承転結を意識して読んだりキーワードと図表を結び付けて読んだりして、発達段階に合わせた読み方の指導を推進する。</p>

## 【小学校算数】

### 本校の概要

#### 【学習指導要領の領域】

#### 【A 数と計算】

→全国平均を下回っている。

#### 【B 図形】

→全国平均を下回っている。

#### 【C 測定】

→全国平均を下回っている。

#### 【C 変化と関係】

→全国平均とほぼ同程度だがやや下回る。

#### 【D データの活用】

→全国平均とほぼ同程度だがやや下回る。

### 今回の調査における課題

- ・分数の加法について、共通の単位分数を見出すことと、そのいくつかを説明すること。
- ・異分母の分数の加法の計算

- ・数直線上で1の目盛りに着目し、単位分数のいくつかを捉えること

- ・コンパスを使った平行四辺形の作図
- ・台形の意味や性質の理解

- ・基本図形を分割することができる図形の面積の求め方の説明

- ・はかりの目盛りを読む

- ・伴って変わる二つの数量に着目し、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉で記述すること

- ・棒グラフから項目間の関係を読み取ること。
- ・目的に応じた適切なグラフの選択とその説明

### 改善の方向

→分数の意味理解を深めていくとともに、高学年では、共通の単位分数を用いた通分を丁寧に扱うことを推進する。また、全学年で計算チャレンジテストの取組を通じて四則計算の習熟を図る。

→数の操作だけではなく、数直線を用いた学習を推進することで、数の仕組みの意味理解を深めていく。

→図形の特徴や性質のもととなる垂直や平行といった直線の位置関係の理解を丁寧に扱う。

→既習(四角形・三角形の面積等)を活用した様々な工夫や考え方が認められる指導を推進する。

→(数直線を含む)目盛りを読むときに1目盛りの大きさに着目する指導を推進する。

→各単元を通して、自分の考えを言語化(記述・発表等)しながら理解を深めていく指導を推進する。

→グラフの読み方と特徴を知り、用途によって使い分けができることへの理解を深める指導を推進する。

## 【小学校理科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【学習指導要領の区分・領域】 【「エネルギー」を柱とする領域】 →全国平均を下回っている。</p> <p>【「粒子」を柱とする領域】 →全国平均とほぼ同程度だがやや下回る。</p> <p>【「生命」を柱とする領域】 →全国平均を下回っている。</p> <p>【「地球」を柱とする領域】 →全国平均とほぼ同程度だがやや下回る。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・電気の回路のつくり方において実験方法を発想し表現すること</li><li>・電磁石の強さは巻き数によって変わることへの知識。</li><li>・水の結露について温度によって水の状態が変化するという知識を基にした概念的な理解。</li><li>・ヘチマの花のつくりや受粉についての知識。</li><li>・顕微鏡を操作し適切な像にするための技能。</li><li>・差異点や共通点ををもとに新たな問題を見出し、表現すること。</li><li>・氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けた知識の概念的な理解。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>→課題解決に向けて、実験方法を考えたり、工夫したりして、体験的な学習を推進する。</li><li>→反復学習で基本的な知識の定着を図る。</li><li>→学習した概念と身の回りの出来事を結ぶ結び付けて考える学習を推進する。</li><li>→反復学習と体験的な学習を組み合わせて基本的な知識技能の定着を図る。</li><li>→対照実験を通して、比較することや比較した結果から考察することへの理解を深める。</li><li>→学習した概念と身の回りの出来事を結ぶ結び付けて考える学習を推進する。</li></ul>

## 【児童質問紙調査結果より】

### 成果と課題

○=成果(全国平均と比較して、肯定的な回答が多かった内容)

●=課題(全国平均と比較して、否定的な回答が多かった内容)

○困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる

大人にいつでも相談できる

→当てはまる 47.1%

○PC やタブレットを使った学習で

→情報を整理する 37.3%

→自分のペースで学習できる 39.2%

→すぐに調べることができる 62.7%

→楽しみながら学習できる 66.7%

→友達との考えを共有・比較できる 58.8%

→友達と協力して学習できる 62.7%

○課題解決に向けて自分で考え自ら取り組んでいましたか

→当てはまる 35.3%

○友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題解決に取り組んでいますか?

→当てはまる 66.7%

○理科の勉強は好きですか?

→当てはまる 66.7%

○理科の授業で、観察や実験をよく行っていますか

→当てはまる 72.5%

●自分に良いところがあると思いますか?

→どちらかといえば当てはまらない 17.6%

●将来の夢や目標を持っていますか?

→どちらかといえば当てはまらない 15.7%

→当てはまらない 17.6%

●友達関係に満足していますか?

→どちらかといえば当てはまらない 15.7%

●授業以外の学習時間

→30分より少ない 29.4%

●地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか?

→当てはまらない 13.7%

●算数の勉強は得意ですか?

→当てはまらない 29.4%

●算数の勉強は好きですか?

→当てはまらない 23.5%

### 成果と課題を受けて

①「自分に良いところがあると思いますか」

→校内のアンケートからも同様の結果が見られたことから、各学級にてお互いのよさを伝え合う活動を実践していく。また、ソーシャルスキルトレーニングを授業で扱うことで、自分の良さに目が向き、自分にはいいところがあることに気づいてもらえるような取組を行っていきます。

②「将来の夢や目標を持っていますか」

→出前授業を活用して、体験的なキャリア教育の実践を推進していきます。

③「友達関係に満足していますか」

→①の取組に加え、共感的な理解、自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる相互扶助的で共感的な人間関係を創りあげる指導を推進していきます。

④「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」

→委員会活動・学級活動を中心として、自治的な活動を推進し、自分たちの身の回りの生活をよくしていく経験を重ねていく。また、地域とのつながりを生かした学習の中で、児童の取組が地域や身の回りの社会のためになっているということを再認識できるよう支援していきます。

⑤「算数の勉強は得意ですか」「算数の勉強は好きですか」

→「計算チャレンジテスト」等、目標をもって基礎的な計算技能の習熟ができる機会を継続したり、授業で操作的活動を取り入れたり、学習形態を工夫したりして、「わかる・できる学習」を目指していきます。